

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 92313 単位数 : 2

| | | | |
|-----------|-------------|-------|------|
| 科目名 | 教職実践演習（中・高） | 科目責任者 | 鉤 治雄 |
| 課題と試験担当教員 | | | |
| 履修方法 | S スクーリング学習 | | |
| ナンバリング | CTETC450 | | |

■ 科目概要

「教職実践演習」は教育職員免許法の改正により、新設された必修科目である。平成22年度以降の入学から幼・小・中・高の教員免許状取得見込み者全員が履修しなければならない科目である。国・公・私立の全国の大学が同じ科目名となっている。文部科学省は、科目の趣旨として「学びの軌跡の集大成」と位置付けている。教職を目指す学生がその職に適する適性を持ち、教職と専門の知識と技能を身につけているかを確認する科目として位置付けているのである。この科目の設置に関し、文部科学省は全大学に共通の設置条件を付けている。

①最終学年に置くこと。②教育実習を終了していること。

1クラスの人数を約20人として、15回の授業は1回毎に担当教員が替わるオムニバス形式で行う。下記の15回の順序はクラス毎に順不同となる。

■ 到達目標

教職に対する使命感と情熱を身につけている。

- ・ 職責や組織の一員であることを自覚している。
- ・ 幼児・児童・生徒に対し昨今の変容とその対応と指導ができています。
- ・ 学校の諸活動を理解し、学級経営ができる。
- ・ 集団の中で他人の意見を聞き適切な応答ができています。
- ・ いじめなど人権を尊重する態度を身につけている。
- ・ 作成した学習案を基にして授業ができる。
- ・ 今の学校教育における課題を広く理解する。

以上のような到達目標を演習を通じて確認する。

■ 科目の計画・内容

| 学習範囲 該当する章など | 学習内容 |
|-------------------|-----------------------------|
| オリエンテーション | 授業の意義と進め方 担当教員紹介 |
| 教職の意義と社会的役割 | 教職の意義と社会的役割 講義と演習 |
| 教師の職務 | 教師の職務、校務、服務規程について 講義と演習 |
| 幼児・児童・生徒の変容と実態 | 幼児・児童・生徒の変容と実態 講義と演習 |
| 幼児・児童・生徒理解と対応 | 幼児・児童・生徒理解と対応 講義と演習 |
| 幼児・児童・生徒の生徒指導 | 幼児・児童・生徒の生徒指導 講義と演習 |
| 幼児・児童・生徒の対応と保護者対応 | 幼児・児童・生徒の対応と保護者対応 演習とロールプレイ |
| 学級経営 | 学級経営（年度初めの教師の仕事） 講義と演習 |

| 学習範囲 該当する章など | 学習内容 |
|-----------------|------------------------------|
| 学校の諸活動 | 学校の諸活動（給食、清掃、クラブ、委員会活動、学校行事） |
| 集団討論 | 集団討論（課題に基づいてグループ討論） |
| 人権教育 | 人権教育 講義と演習 |
| 模擬授業 | 学習指導案に基づく模擬授業（1） |
| 模擬授業 | 学習指導案に基づく模擬授業（2） |
| 教育事例研究 | 教育事例研究（現職校長か教育委員会指導主事） |

■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークを行います。

■ 学習方法・評価

| 種別 | 評価基準 |
|----|-------------------|
| 試験 | 各回の授業内容の理解について問う。 |

■ 評価方法

○スクーリング試験：100%

■ 教科書

書名：教科書なし

著者名：－

出版社名：－

出版年：

版：

刷：

ISBN：

■ 参考書

学習指導要領 教職概論のテキスト

■ 履修上のアドバイス

評価は授業担当者全員で協議して評価される。

■ 自習時間

- ・演習であるので時間内の作業とその宿題を完成させる時間が求められる。
- ・学習指導案を事前に作成する時間が求められる。

■ 担当者のプロフィール

清水 研一郎 代表者 藤平田 英彦（とへだ）教育学部教授
 福島 良樹
 青木 正
 松尾 耕作
 近藤 茂代
 藤平田 英彦

浅川 公一
山本 誠一
石野 日出夫
榛葉 邦男
萩本 悦久
田中 健一